

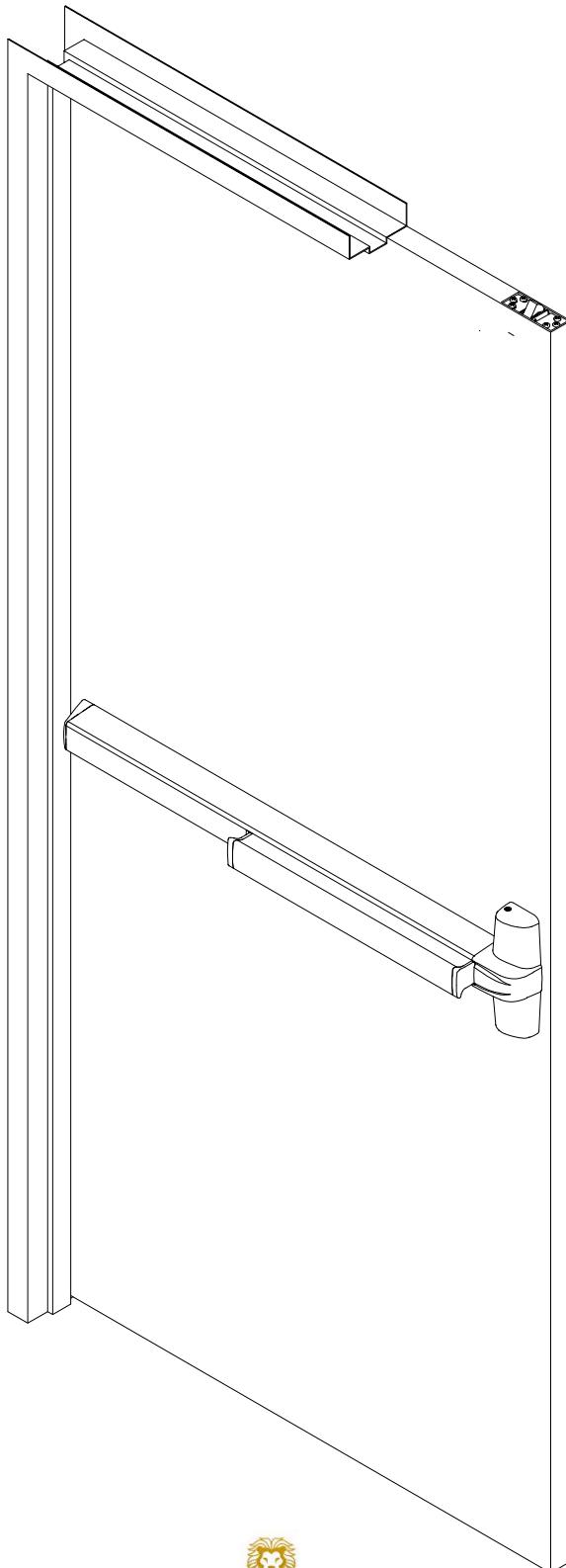


GOLDMAN INC.

**Klacci**<sup>®</sup>  
life unlocked.

1300/F1300 パニックバー  
コンシールド垂直ロッド式

## 取付説明書



Patent No. 7,634,927 7,748,757  
D623,499 7,836,738 7,887,107  
and other patents pending.

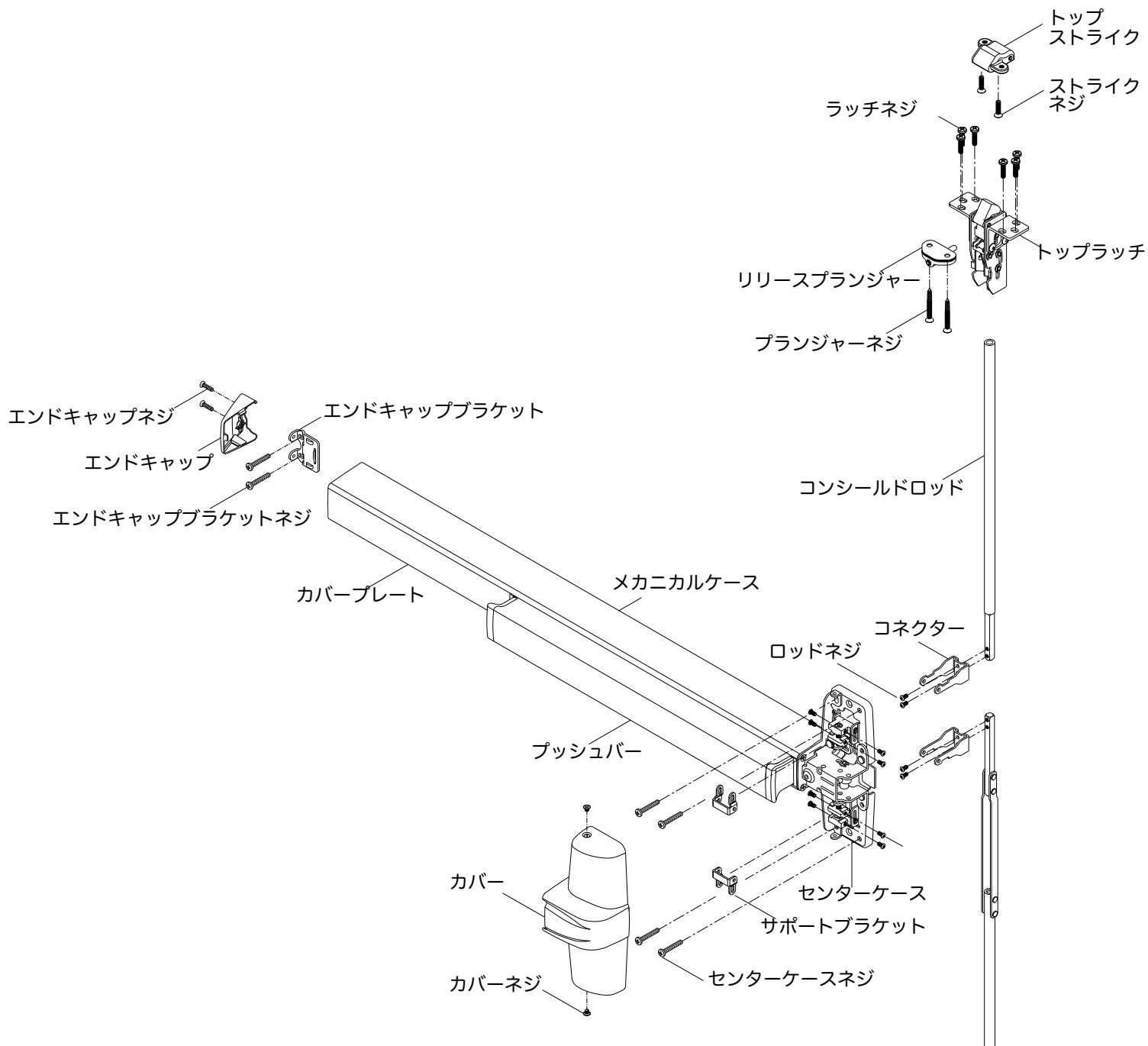


GOLDMAN INC.

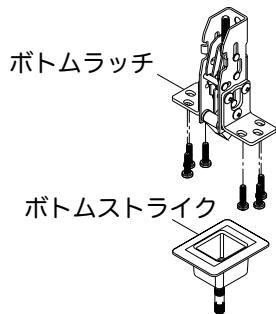
ゴールドマン株式会社

222-0033 横浜市港北区新横浜3-7-19 3F

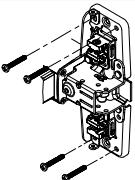
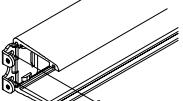
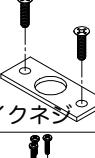
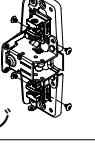
☎ : 045-620-8010 FAX : 045-620-8011 ☐ : info@goldman-inc.jp WEB : www.goldmanexa.com



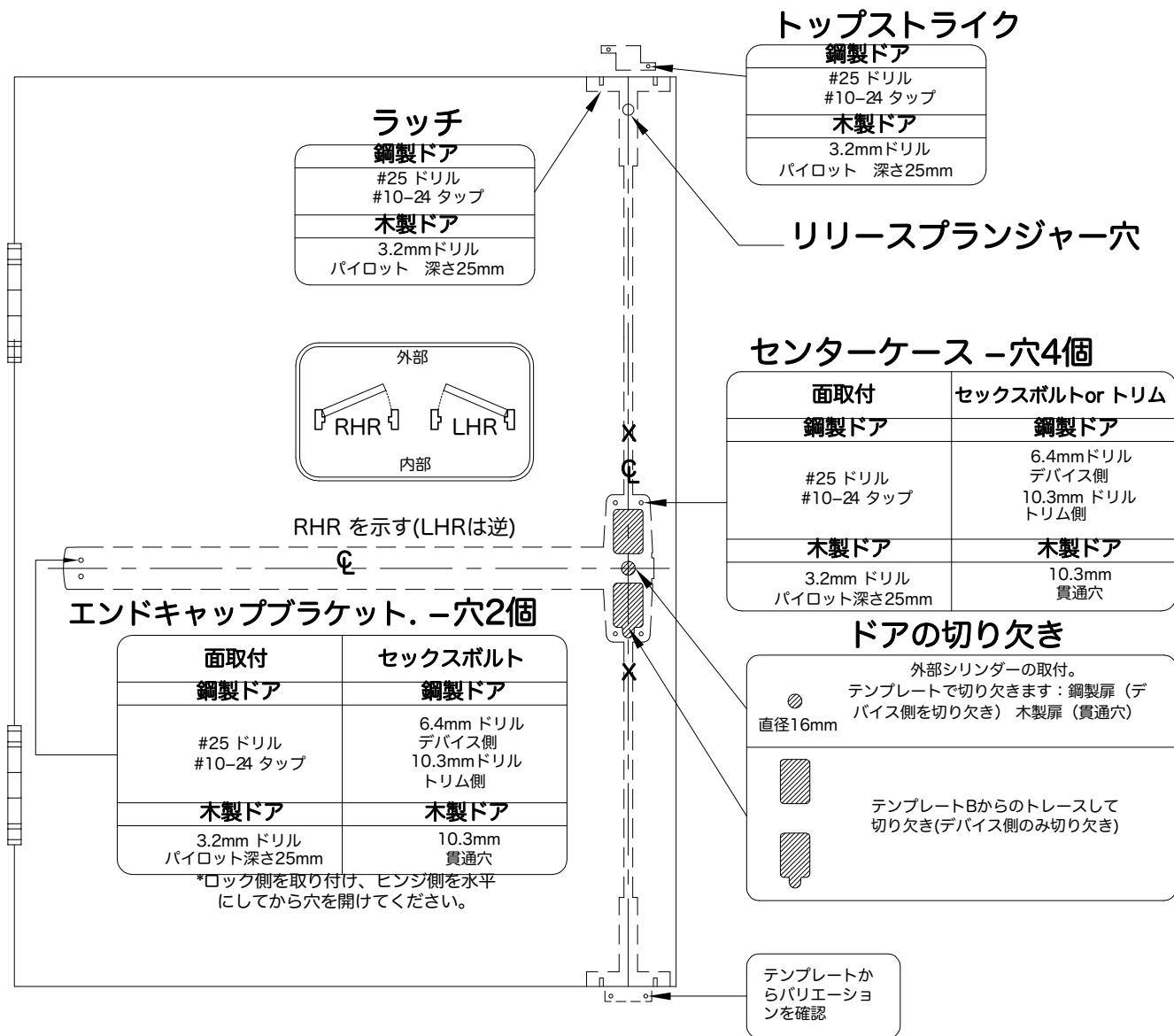
必要工具	
六角レンチ	5/64"
インチタップ	#8-32, #10-24
ドリルビット	#25 3.2mm, 6.4mm, 8mm, 10.3mm
スペードドリル	15.9mm (木製ドア)



## ネジのチャート表

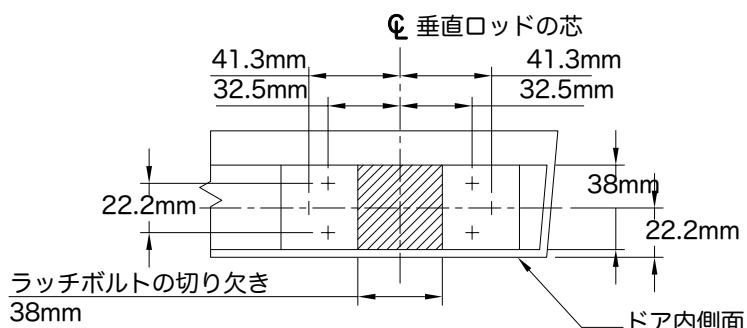
取付相手側	鋼製ドア	セックスボルト	木製ドア
	<p>センターケースネジ</p> <p>④</p> <p>M5なねじも可 No.10-24 x 1-11/32" 4 PCS</p>	<p>④</p> <p>No.10-24 x 1-11/32" 4 PCS</p> <p>④</p> <p>No.10-24 x 1-3/32" 4 PCS</p>	<p>④</p> <p>No.10-12 x 1-11/32" 4 PCS</p>
	<p>エンドキャップブラケットネジ</p> <p>④</p> <p>M5小ねじも可 No.10-24 x 1-11/32" 2 PCS</p>	<p>④</p> <p>No.10-24 x 1-11/32" 2 PCS</p> <p>④</p> <p>No.10-24 x 1-3/32" 2 PCS</p>	<p>④</p> <p>No.10-12 x 1-11/32" 2 PCS</p>
	<p>プランジャーネジ</p> <p>M5皿ねじも可</p>	<p>④</p> <p>M5皿ねじも可 No.10-24 x 1-5/8" 2 PCS</p>	
	<p>216ストライクネジ</p> <p>④</p> <p>No.10-24 x 11/16" 専用ネジを使用 2 PCS</p>		<p>④</p> <p>No.10-12 x 1-11/32" 2 PCS</p>
	<p>225ストライクネジ</p> <p>④</p> <p>No.10-24 x 11/16" M5小ねじも可 2 PCS</p>		
	<p>トップ・ボトムラッチネジ</p> <p>④</p> <p>No.10-24 x 25/32" M5トラスネジも可 6 PCS</p>		<p>④</p> <p>No.10-12 x 1-11/32" 6 PCS</p>
	<p>227ストライクネジ</p> <p>④</p> <p>No.1/4-20 x 5/8" 付属専用ネジを使用 1 PCS</p>	<p>④</p> <p>No.1/4-20 x 5/8" 1 PCS</p>	
	<p>サイドネジ</p> <p>④</p>	<p>④</p> <p>No.8-32 x 7/32" 付属専用ネジを使用 4 PCS</p>	
	<p>トップ・ボトムロッドネジ</p> <p>④</p>	<p>④</p> <p>No. 8-32 x 5/16" 付属専用ネジを使用 2 PCS</p>	
	<p>エンドキャップネジ</p> <p>④</p>	<p>④</p> <p>No.8-32 x 5/8" 付属専用ネジを使用 2 PCS</p>	
	<p>カバーネジ</p> <p>④</p>	<p>④</p> <p>No.8-32 x 5/32" 付属専用ネジを使用 2 PCS</p>	

## ドアの準備 チャート

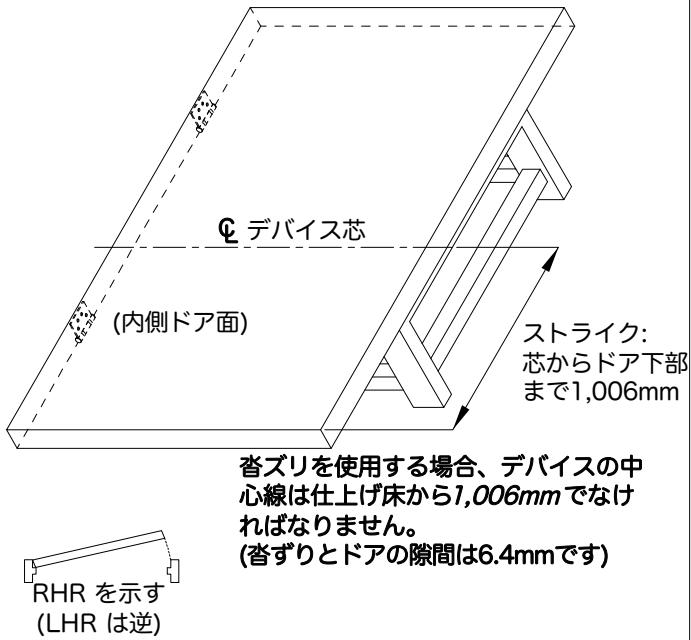


## ラッチ用の穴の準備

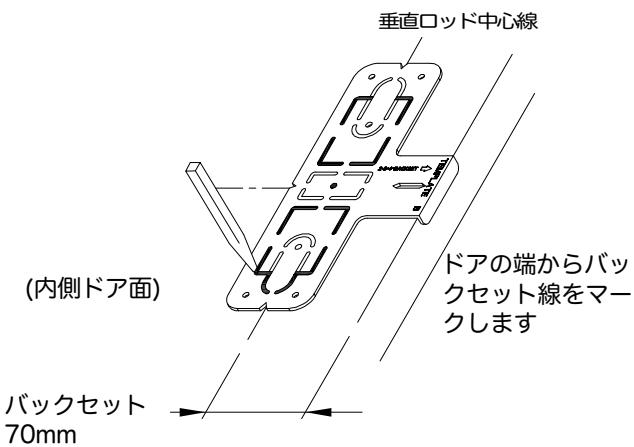
ドアのトップとボトムに穴をあけます



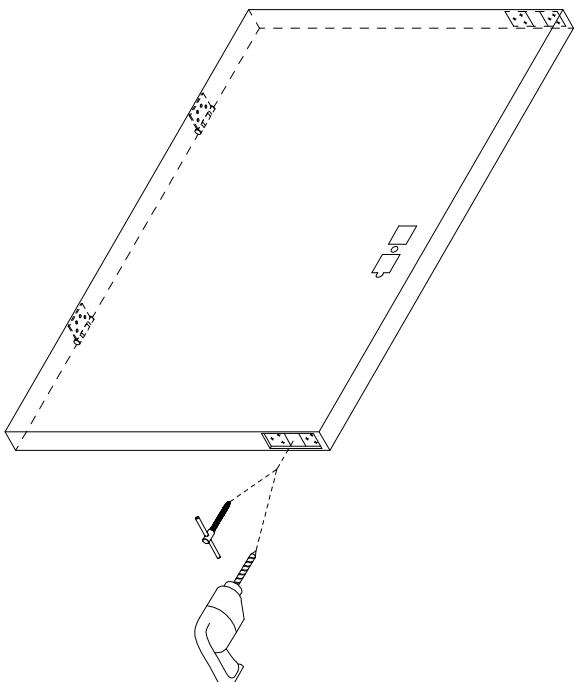
## 1 垂直ロット式デバイスの中心線を書く(CL)



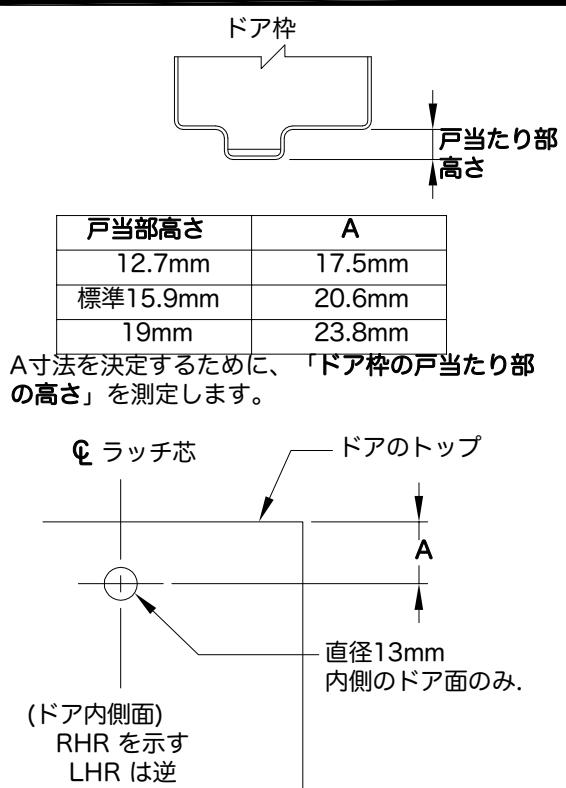
## 2 垂直の中心線を引き、バックセットに印をつける



## 3 デバイス用のドアと上下のラッチを用意

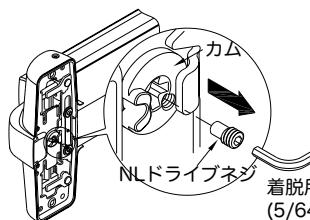


## 4 扉の上部にリリースプランジャー用の穴を開ける



ドリルタップ、切り欠きについては、4ページの「扉の準備チャート」を参照してください。

## 5 NLドライブスクリューの使用を決定する

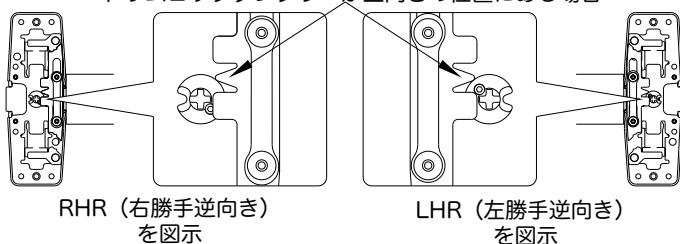


NLドライブスクリューは、工場出荷時に装着されています。NLドライブスクリューがセンターケースの後ろに残っている場合は、外側のシリンダーはないとラッチとしてのみ機能します。

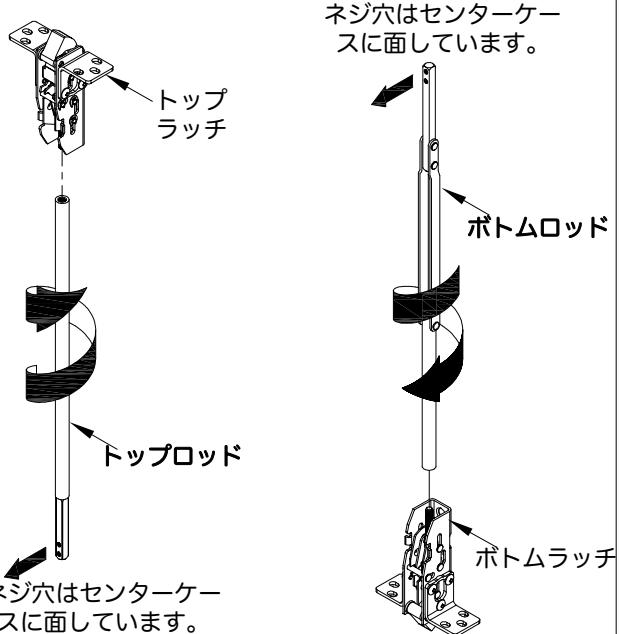
### NOTE:

1. プルプレートやナイトラッチ用シリンダーがある場合、NLドライブスクリューは絶対に外さないでください。
2. 動作するレバー、ノブ、またはサムピース（親指で押す部品）が付いており、なおかつ外側から鍵で施錠・解錠できるシリンダーが付いているトリムレバーハンドルを取り付ける場合は、センターケース後部からNLドライブスクリューを取り外してください。
3. 動作するトリムレバーハンドルを取り付ける場合、トリムが解錠できるように装置後部のトリムロックタンブラーの位置を調整する必要があります。トリムロックタンブラーが上向きの位置にない場合は、一度NLドライブスクリューを取り外し、カムを回してタンブラーを上向きに合わせてから、NLドライブスクリューを元に戻してください。

トリムロックタンブラーが上向きの位置にある場合

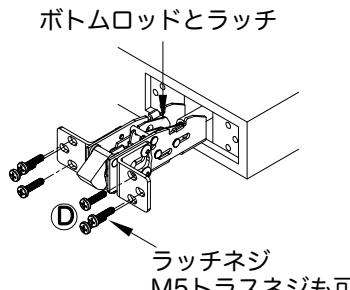
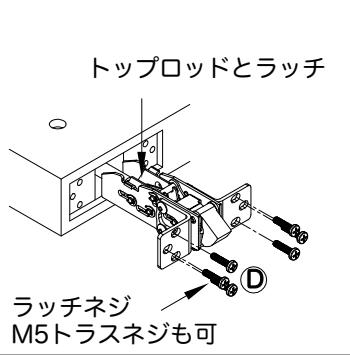


## 6 ラッチにロッドを取付ける

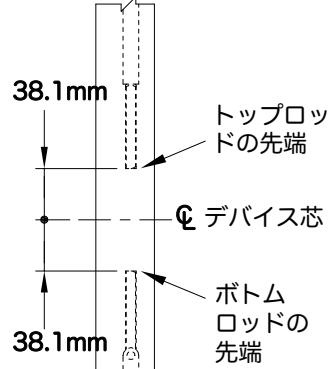


ロッドバーのネジ穴がセンターケースに面するまで、ラッチスタッドにロッドをねじ込みます。

## 7 ロッドとラッチの取付け



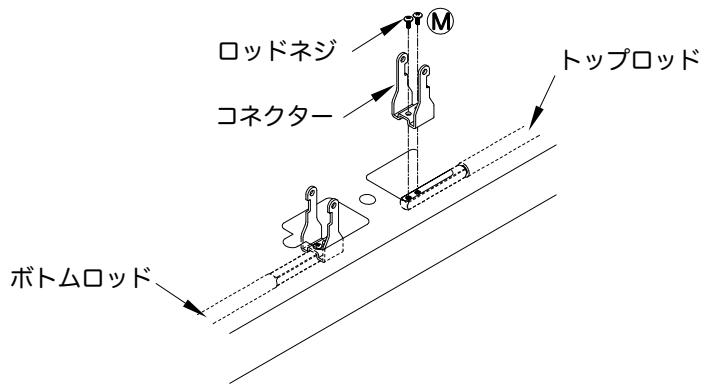
### 横向き図



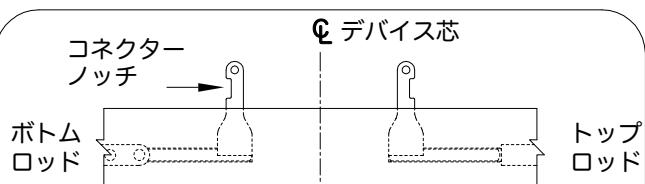
NOTE: 必要に応じてトップロッドをカットし、ロッドの先端をカットしてテーピングします。10ページの「トップロッドをカットする/トップロッドを伸ばす」を参照してください。

1. トップラッチとラッチネジをドアの上から取り付けます。
2. ドアの底面からボトムラッチとラッチネジを取り付けます。
3. ラッチのロッド棒のネジ回して全長を微調整します。

## 8 コネクターの取付け



長さを調整した後、コンシールドロッドにコネクターをロッドネジで取り付けます。



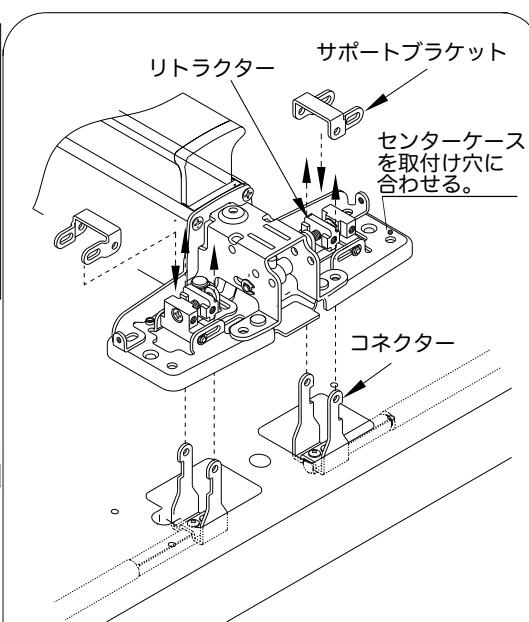
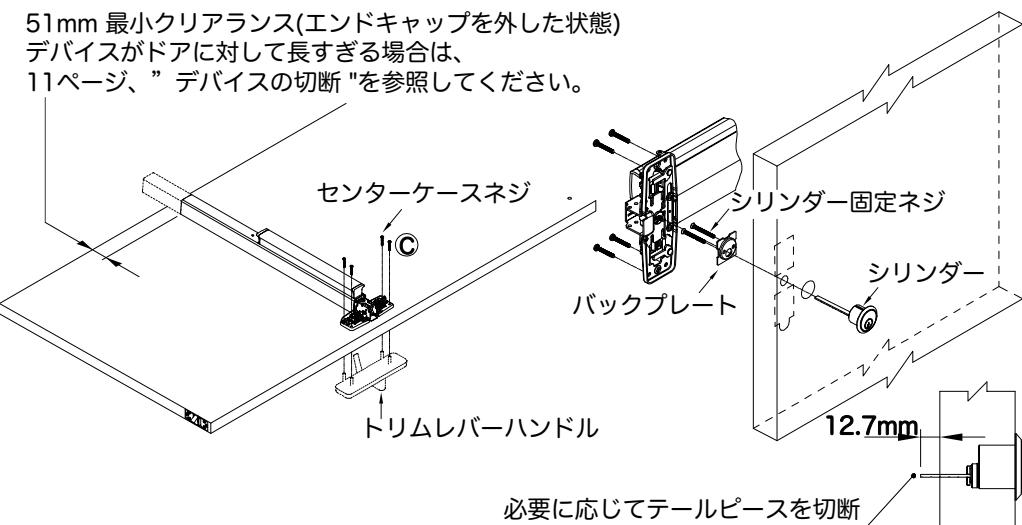
NOTE: トップロッドのコネクターのノッチをドア上部に向け、ボトムロッドのコネクタのノッチをドア下部に向け配置します。

## 9 トリム (使用する場合) を取付け、デバイスセンタークースをドアに固定

51mm 最小クリアランス(エンドキャップを外した状態)

デバイスがドアに対して長すぎる場合は、

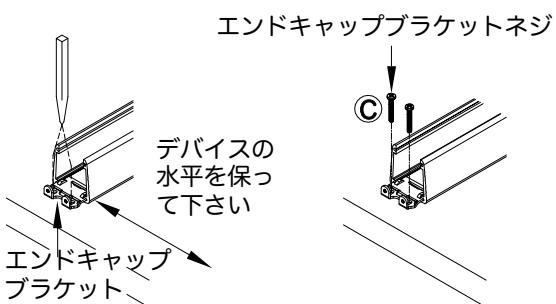
11ページ、"デバイスの切断"を参照してください。



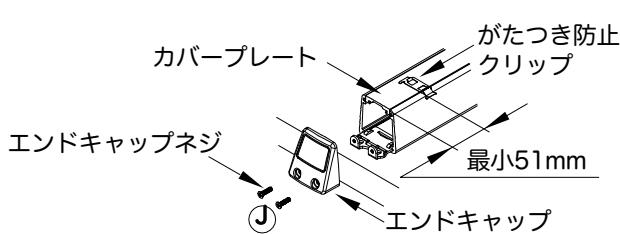
### NOTE:

- 両方のコネクタがリトラクターとセンター ケースの間のクリアランスを通過するよう にセンター ケースを取り付けます。
- コネクターとリトラクターの上部にサポー トブラケットを取り付けてください

## 10 取付けブラケットと エンドキャップと取付ける

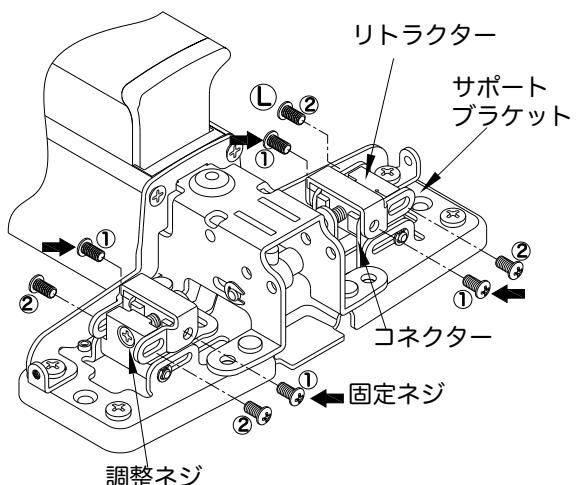


- カバープレートを取り外し、エンドキャップブラケットを プッシュバーーセンブリに挿入します。  
デバイスを水平にし、ブラケットネジ 2個の穴に印を付け、あけて下さい。  
エンドキャップブラケットをネジでドアに固定します。



- カバープレートを挿入し、ガタつき防止クリップを所定の位置 (端から最小51mm) にスライドさせ、エンドキャップをエンドキャップネジ2本で取り付けます。

## 11 サイドネジの取付け

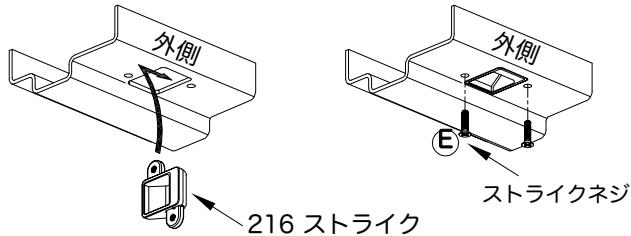


- 両方のラッチボルトが伸びていることを確認します。  
2. リトラクターのネジ穴のあるコネクタの丸穴に両面の「サイドネジ」で締め付けます。  
3. リトラクター上のサポート ブラケットを通して固定ネジ②を取り付けてください。

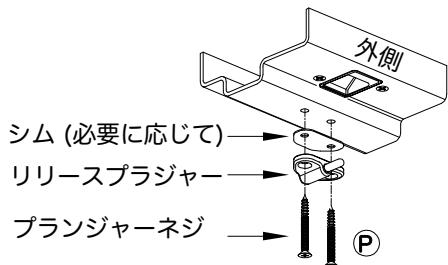
### NOTE:

- ネクターとリトラクターの両側には、サイドネジが取付けられてい必要があります。
- 固定ネジ2を仮止めし、締め付ける前にデッドボルト (ステップ14) を調整してください。

## 12 ドアを吊り、トップストライク&リリースプランジャーを取り付ける

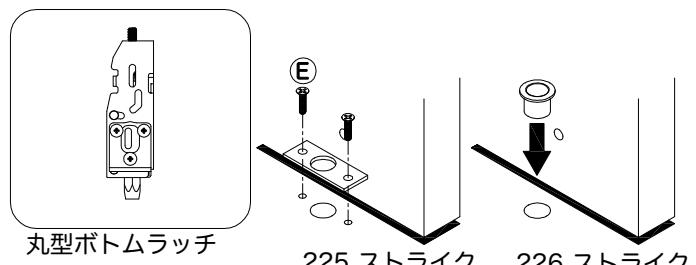
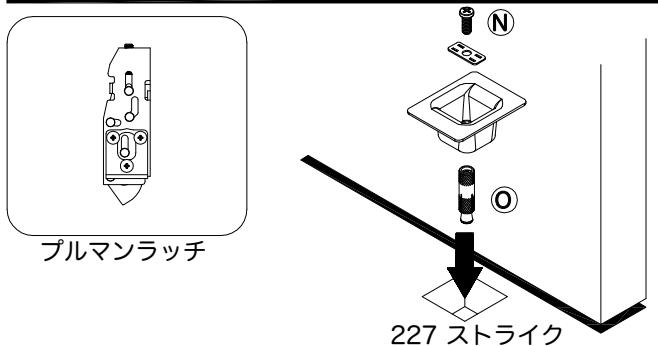


枠の切り欠きと穴は、9ページの「枠の準備」を参照してください。準備ができたら、トップストライクをドアフレームに取り付け、ストライクネジ2本を取り付けます。(インチタップ付)



穴については、9ページの「フレームの準備」を参照してください。準備ができたら、プランジャーネジ2本でリリースプランジャーを取り付けてください。

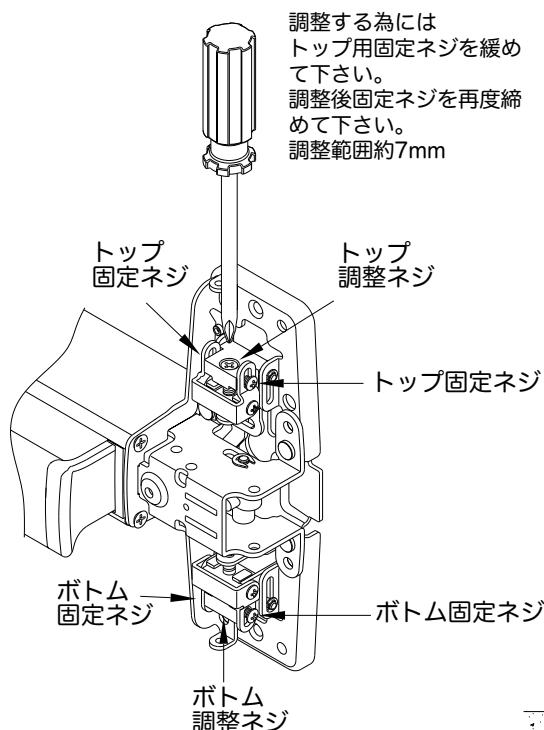
## 13 ボトムストライクの取付け



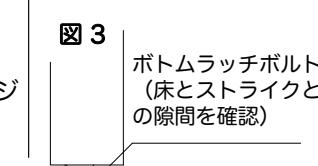
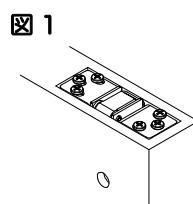
- 取付ネジ位置を床に印を付け、ストライクとネジの種類に応じて床を準備します。床にボルト用の隙間を設けてください。
- 沓ズリがある場合：  
沓ズリには、ストライクのタイプに応じて穴を開けてください。

## 14 ラッチを調整し、上下のロックネジを固定する

最終ページに詳細説明があります

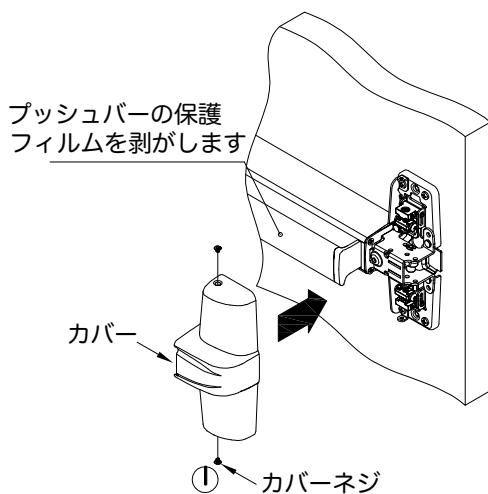


調整する為にはトップ用固定ネジを緩めて下さい。  
調整後固定ネジを再度締めて下さい。  
調整範囲約7mm



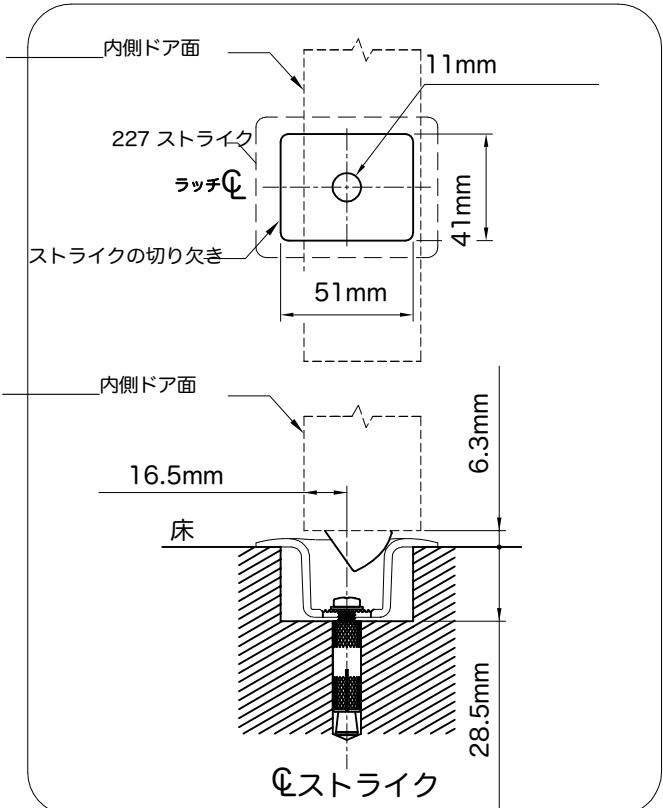
1. プッシュバーを押してラッチboltを引っ込め、ドアを開きます。
2. 上部のラッチがホールドバックされているか確認します。  
(ラッチboltがラッチケース内で引っ込んだままになる)  
**図1を参照。**
3. 上部のロックネジを緩めます。
4. 上部のラッチbolt完全に引っ込むまで上部調整ネジを回します。
5. 上部のラッチboltを外します。**図2を参照。**
6. 上部のラッチboltにデッドロックを確認する。  
(ラッチboltが押し込まれていない状態)
7. トップラッチboltがデッドロック状態になるまで、上部調整ネジを回します。
8. 上部の固定ネジを緩めます。
9. プッシュバーを押してラッチboltを引っ込めます。
10. 上部のラッチboltが**図1**のように引っ込んだままになっていることを確認します。**図1を参照。**
11. ボトム固定ネジを緩めます。
12. トップラッチプロットがまだ格納されている状態で、ボトム調整ネジを回転させて、下部ロッドを調整し、ラッチboltが床と下部ストライクの隙間を開けるようにして下さい。**図3を参照。**
13. トップラッチboltをリリースします。**図2を参照。**
14. ボトムラッチboltのデッドロックの掛かりを確認します。
15. ボトム固定ネジを緩めます。
16. ドアの開閉テストを数回を行い、デバイスの動作やデッドロック、ホールドバックの機能を確認して下さい。

# 15 ケースカバーの取付



センタークースにカバーをセンタークースネジ2本で取り付けます。

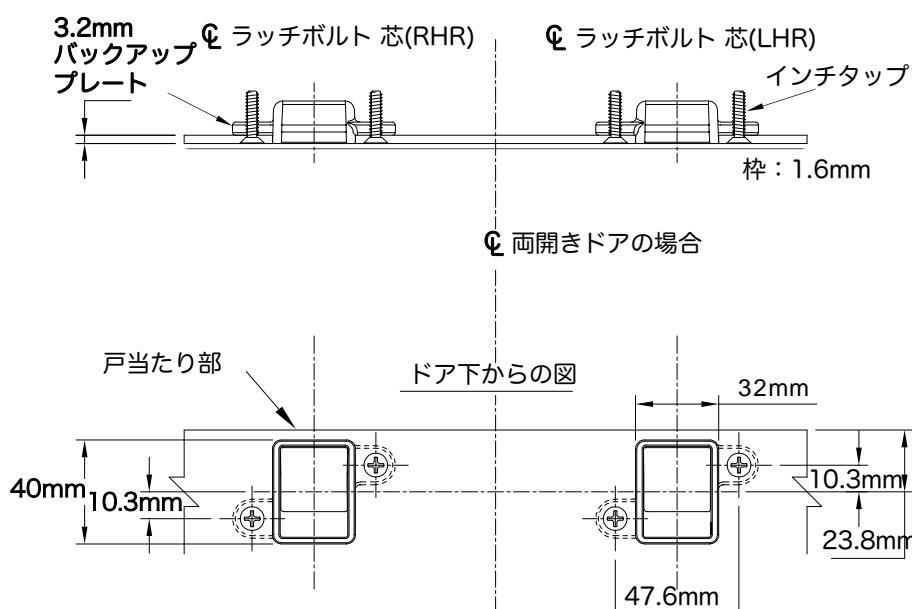
## 227 ストライク穴の準備



## ドア枠の準備

### 216 トップストライク

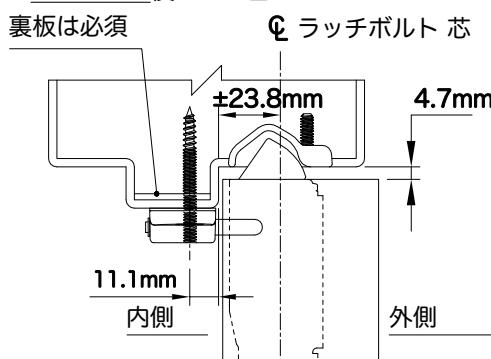
正面からの図



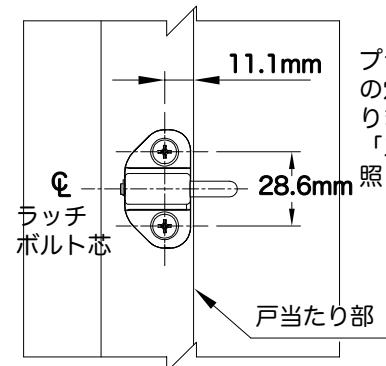
※トップストライク取り付けには3.2mmの  
バックアッププレートが必要です。

### プランジャーのリリース

横からの図

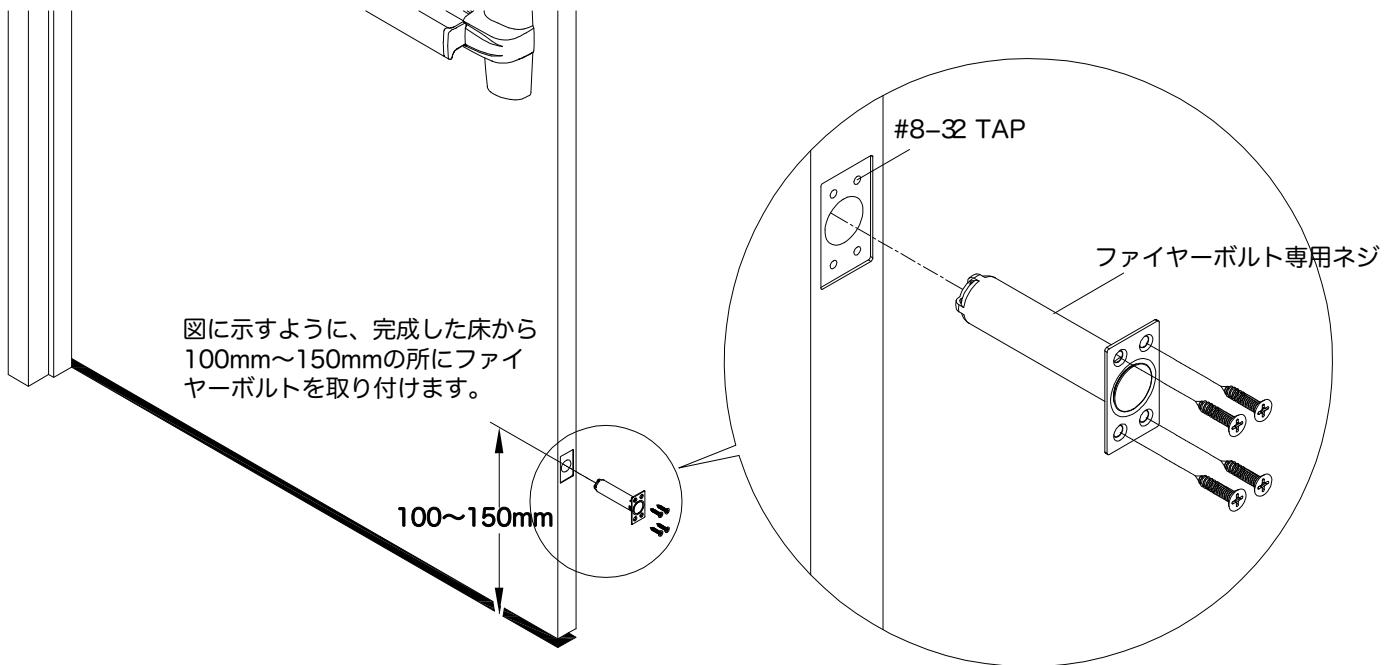


ボトムからの図



プランジャーはドアの穴に入る必要があります。5ページの「ステップ4」を参照してください。

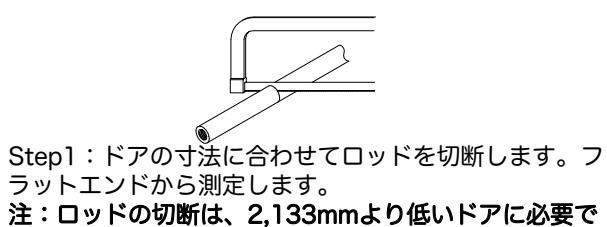
# ファイヤーボルトの取付



NOTE: ボトムロッド (LBR) を使わない防火ドア用デバイスを使用する場合は、ファイヤーボルトを使用する必要があります。

## トップロッドの切断・トップロッドの延長

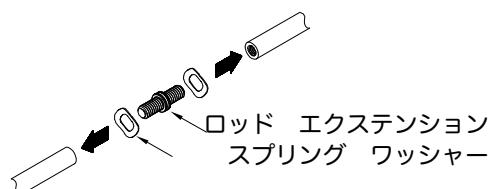
### トップロッドの切断



Step 1: ドアの寸法に合わせてロッドを切断します。フラットエンドから測定します。  
注: ロッドの切断は、2,133mmより低いドアに必要です。

Step 2: タップ #1/4-20 ; 深さ25.4mm

### ロッドの延長

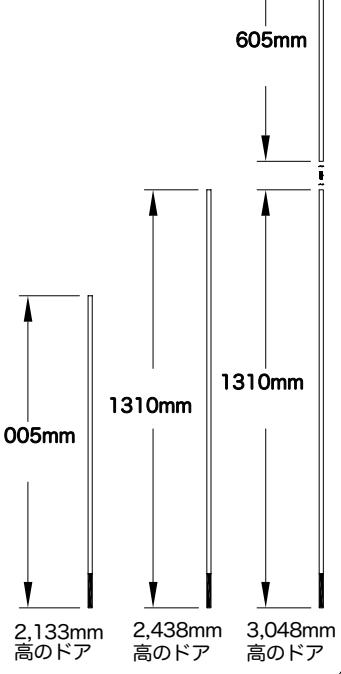


2本のロッドをしっかりと接続するために、ロッドエクステンションとスプリングワッシャーを取り付けます。

切り落し  
の長さ  
実際の  
ドア高さ

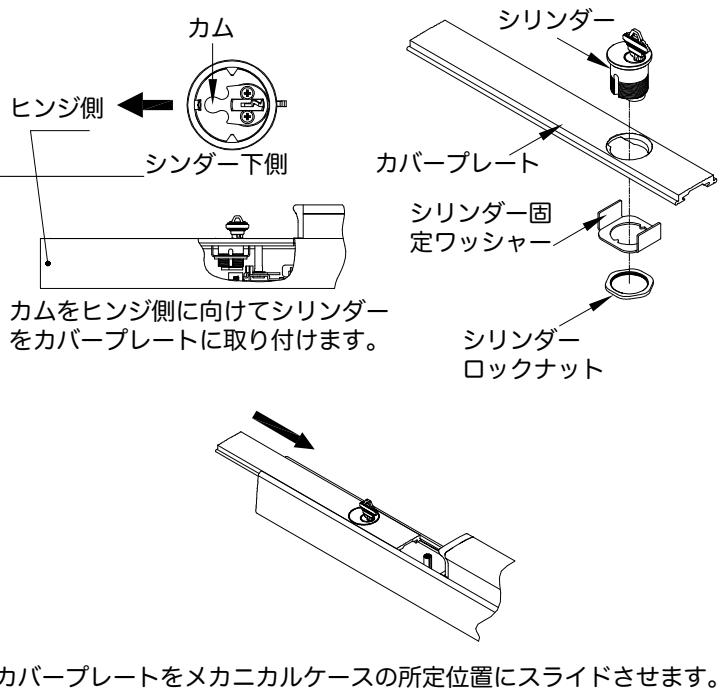
1006mm  
(標準)  
1005mm  
1310mm

### トップロッド長さ 指定

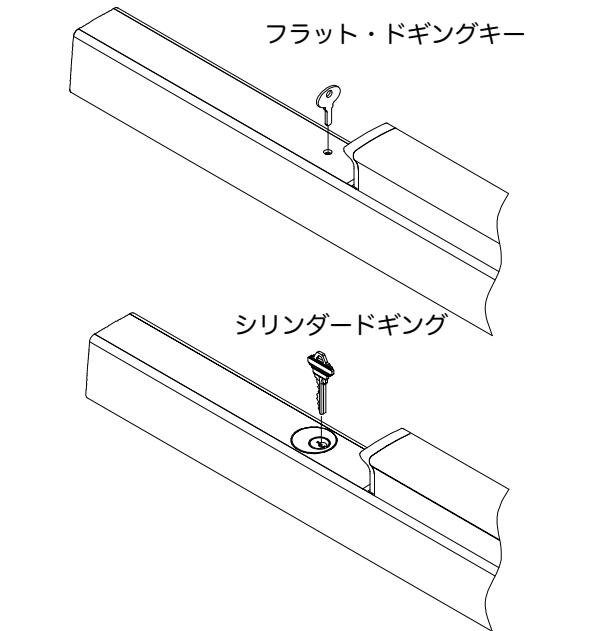


# オプション ドギング

## シリンドードギング

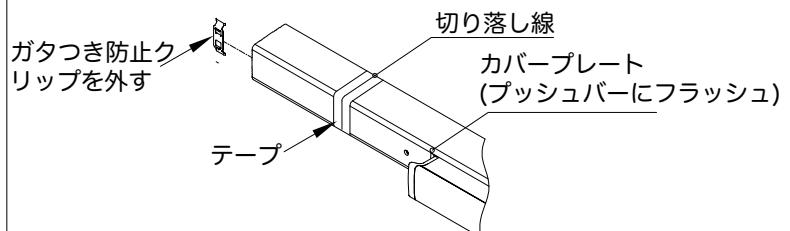
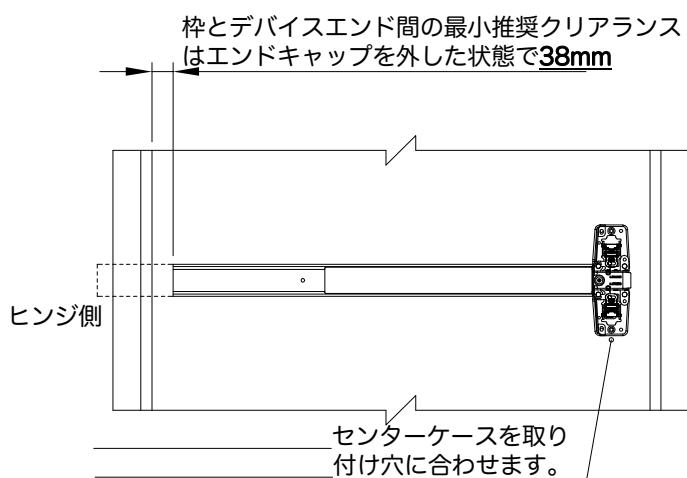


## ドギング チェック

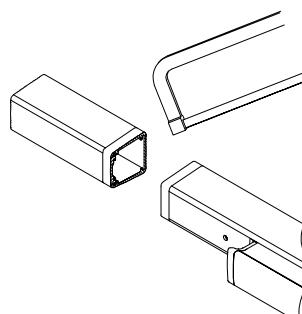


プッシュバーを押し下げ、フラット / 六角レンチまたはキーを1回転してドッキングチェックを行います。

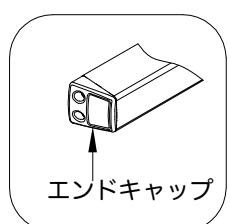
## デバイスの切断 (必要に応じて)



1. ガタつき防止クリップを外した状態で、カットする部分にテープで印をつきます。

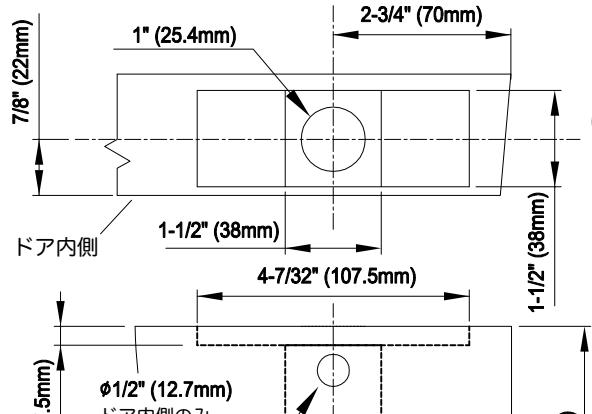


2. 装置を切断し、バリ取りを行う。  
NOTE: デバイスを垂直に切断します。またはエンドキャップを装着します。

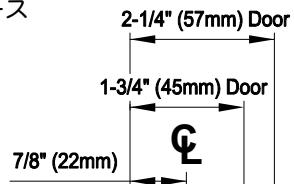


# 木製ドア 取付準備

④ ラッチケース及びデバイス



④ ラッチケース



φ3/4" (19mm)  
切り欠き  
1-5/8" (41.5mm)  
φ5/8" (16mm) デバイスに穴あけ  
トリム側のみ (203R, 205R, 309R)

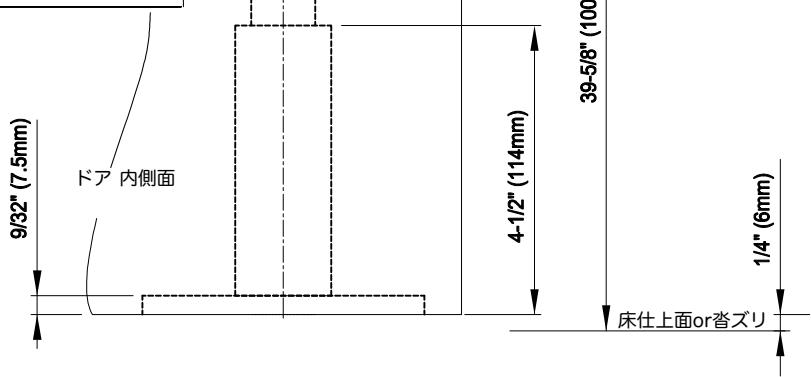
④ DEVICE

1-3/8" (35mm)  
深さ

1-3/8" (35mm)  
深さ

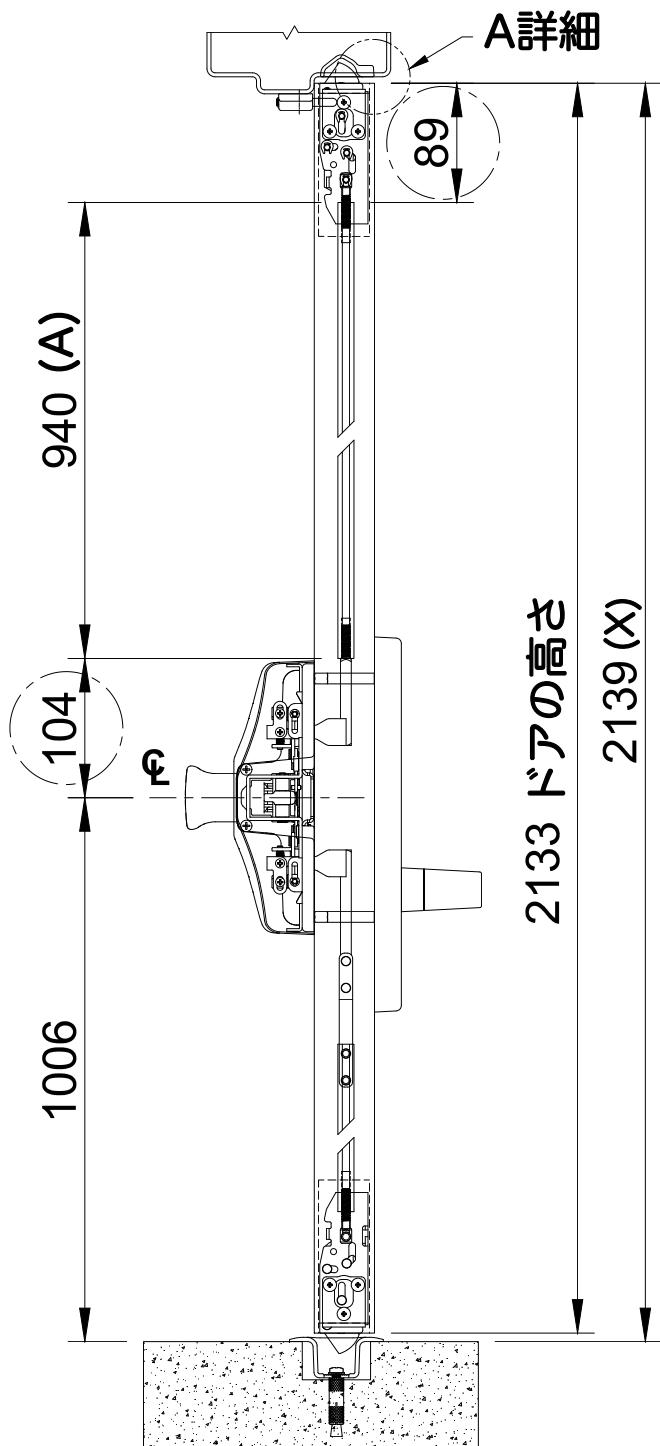
アプリケーション	寸法
パニックバー デバイス側	3mm, パイロット深さ: 25mm
レバーハンドル側	10.3mm ドリル

RHRを示す  
(LHRは逆です)

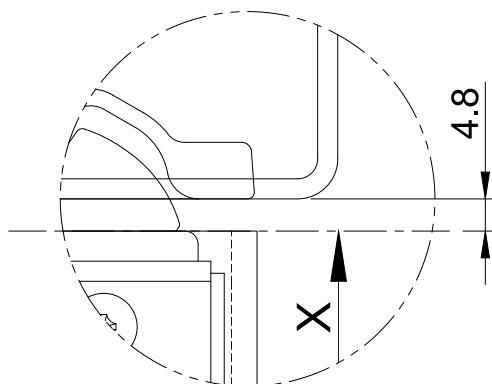


# Klacci パニックバー 1300 コンシールド型

CVR トップロッドの長さ =  $2139-1006-(104+89) = 940\text{mm}$



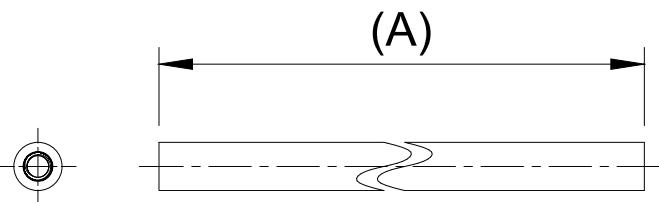
(X)=床面からドア上端部



A詳細  
SCALE 5:1

ドアの高さ	トップロッドの長さ(A)
2,133mm	940
2,438mm	1245
3,048mm	1850(1245+605)

(X)=床面からドア上端部まで



$$\text{計算式} : (A) = 2139 - 1006 - 104 - 89$$

$$A = X - 1,199 (1,006 + 104 + 89)$$

# Klacci 1300シリーズの調整方法

- 1) ドアにパニックバーを設置した後、トップロッドとボトムロッドのリトラクター（ラッチを引っ込めるための機構）を調整していきます。
- 2) リトラクターを中央に移動させ、可動範囲の中央に合わせます。  
(この作業をトップロッドとボトムロッドの両方で行います)
- 3) トップロッドをトップラッチに接続し、ロッドを回しながらラッチのネジに取り付けます。
- 4) ロッドのコネクティングバーをリトラクターに接続し、ネジの穴を正確に合わせてください
- 5) コネクティング・バーのコネクティング・ネジを丸穴の方を二つだけリトラクターの両側に固定します。
- 6) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 7) プッシュバーを押しながらドライバーで調整ネジを回し、トップラッチから「カチッ」という音が聞こえ、ラッチが完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 8) カチッという音と共にデッドロックのラッチピースが上に突き出ます
- 9) 次に、ボトムロッドとボトムラッチを取り付けた後、トップラッチと同じようにボトムラッチを調整します。
- 10) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 11) プッシュバーを押し込んだ状態で、ドライバーで調整ネジを回しボトムラッチがカチッという音が聞こえるまで又、完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 12) ボトムラッチとトップラッチの機能を確認するためプッシュバーを押します。
- 13) トップラッチが引き込まれているかを確認します、そしてボトムラッチも完全に引き込まれているかを確認します。
- 14) 次に、ラッチを押して解除します。デッドロック機能が正常に動作しているかを確認します。
- 15) プッシュバーを押して、トップロッドとボトムロッドが、きつすぎないことが重要です。適度な動きの余裕があることを確認します。
- 16) 4本のネジをすべて固定をして、トップロッドリトラクターとボトムロッドリトラクターの取り付けは完了です。